

秋晴れの下、爽りの秋を楽しむ

2018つべつ産業まつりが開かれる

10月21日、さんさん館前広場で「2018つべつ産業まつり」が開催されました。同実行委員会の主催によるもので、陽気に恵まれた中、多くの人が会場に訪れました。

山鳴太鼓保存会の演奏でまつりが幕を開けると、玉葱・馬鈴薯詰め放題、お楽しみ抽選会などのイベントや、軒を連ねる飲食店の屋台に行列ができました。

また、バルーンアートショーも行われ、楽しい歌と一緒に風船で次々とおなじみのキャラクターたちが作られていく様子に、子どもたちは大喜びでした。



▶大盛況の玉葱・馬鈴薯詰め放題

▶バルーンアート作りの出演に子どもたちから歓声があがる

年に一度の子どものおまつりを楽しむ じどうかんフェスタ2018を開催

10月13日、「じどうかんフェスタ2018」が、児童館つべつで開催されました。年に一度の児童館のおまつりとして、小学生を対象に毎年行われているもので、今年で11回を数えます。一輪車、バンブーダンスなどの子どもステージを皮切りにフェスタが開幕し、館内をいっぱい使った子どもブースで、玉入れや射的、おぼけやしきなどの催しや軽食販売、パフォーマー「はなえだ」さんによるジャグリングショーが行われました。

子どもたちの自主的な運営と、多くのボランティアの協力で開催されたこのフェスタに100人以上が来場、催しを楽しむ子どもたちの歓声が会場に響いていました。



▶「はなえださん」による血回しに、子どもたちも挑戦

▶子どもブースで、多くの子どもたちが玉入れなどの催しを楽しんだ



▲まつりのラストを飾った餅まき
◀お楽しみ抽選券の配布に行列をつくる参加者

最後は、町長らによる餅まきが行われ、参加者たちはたくさん「福」をゲット。爽やかな青空の下、来場者たちは爽りの秋の一日を心ゆくまで楽しんでいました。

ttownics

まちのわだい

海外での自己研鑽を誓う 津別高校生ニュージーランド研修の出発式

平成30年度の津別町青少年海外研修派遣事業の出発式が、10月16日、町長室で行われました。毎年津別高校の生徒を対象に行っている事業で、今年も5人の生徒がニュージーランドに13日間、ホームステイなどで生活します。

派遣されるのは、いずれも2年生の迫田真輝さん、渡邊光さん、西村公理さん、本田真弥さん、真鍋明日香さんの5人です。佐藤町長から「日本との違いを体験し、若い感性でいろいろなことを感じ取って来てほしい」と激励を受けたあと、生徒一人ひとりが抱負を述べ、「生産者を目指し現地の農業を学びたい」「日本にはない芸術をたくさん見ること、今後に生かしたい」など、希望に胸を膨らませていました。



一行は、10月19日に出発し、現地ではオークランド市に滞在、同月31日に帰国する予定です。

地崎道路（株）美幌営業所の地域貢献事業 津別小学校の小グラウンド舗装整備を実施

地崎道路株式会社美幌営業所による、津別小学校の小グラウンドの無償舗装整備工事（資材費は町負担）が、9月22日と24日に行われました。

この工事は、同営業所の地域貢献事業の一環として実施されたもので、小グラウンド東側校門入口から児童玄関までの通路が、幅2m、長さ50mにわたり舗装整備されました。

これにより、雨や雪でグラウンド状態が悪い日も、児童のより安全な登下校が期待できます。



▲小グラウンド舗装整備工事の様子

安全安心でおいしい地元産の食材を子どもたちに 津別町肉牛振興会が学校給食用に和牛肉を寄贈

9月27日、津別町肉牛振興会（迫田浩司会長）から町教育委員会に和牛肉30kgの寄贈があり、宮管教育長に目録が贈られました。同振興会員が生産したブランド牛「つべつ和牛」を学校給食に提供することにより、子どもたちに安全安心でおいしい地元産の食材を知ってほしい、との思いから毎年行われているものです。

寄贈された牛肉は、オール津別食材の給食の日（11月実施予定）に提供されます。



▶宮管教育長（左）と津別町肉牛振興会・迫田会長

北海道警察音楽隊の演奏会 町づくりコンサート開催



▲津別中学校吹奏楽部も参加した町づくりコンサート

9月23日、北海道警察音楽隊による「津別町安全安心町づくりコンサート」（主催 津別町／協賛 津別町交通安全協会、津別町防犯協会）が、中央公民館で開催されました。犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の実現に向け、交通安全・防犯運動などの啓発を目的とした催しです。道警音楽隊の行進曲で幕開けしたステージは、以前同隊に所属していた津別駐在所の大敷所長や津別中学校吹奏楽部も加わり、大いに盛り上がりました。後半はカラーガード隊と共に華やかなステージドリルを繰り広げるなど、バラエティに富んだ楽しいコンサートとなりました。

宝くじの助成金で 消防団活動服93着を整備



地域住民の「生命」「身体」「財産」を災害から守るといふ使命を持った地域防災の要である津別消防団では、消防団活動服の更新にあたり、平成30年度コミュニティ助成事業（消防団育成事業）により、活動服93着を整備しました。この事業は、宝くじの社会貢献広報事業としてさまざまな活動の助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図っていくものです。